

ネットいじめについて

インターネット上にはSNSや無料通話アプリなど、他の利用者と手軽にコミュニケーションをとることができるサービスがたくさんあります。しかし、そうしたサービスでのやりとりがいじめにつながるケースも多くあり、深刻な問題となっています。

今回は、そんなインターネット上でのいじめについてお話ししたいと思います。

「ネットいじめの例」

では、ネットいじめとは具体的にどういったものなのでしょう。よく見られるネットいじめの例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・ 特定の生徒の悪口を書き込んだり、その生徒の見られたくない写真や動画、個人情報などを許可なく投稿したりする
- ・ SNSで特定の生徒になりすましたアカウントを作り、不適切な投稿をする
- ・ 無料通話アプリのグループで、特定の生徒の発言だけを無視したり、特定の生徒をグループからはずしたりする



「ネットいじめの特徴」

ネットいじめの特徴としては、場所や時間帯に関係なくおこなわれることがあげられます。ネットいじめはスマートフォンなどのインターネット機器があれば、24時間どこからでもいじめがおこなわれてしまう可能性があるのです。

また、外部からいじめを発見しづらいことも、ネットいじめの大きな特徴です。無料通話アプリのやりとりは友だち同士しか見ることができませんし、SNSでも非公開設定にすることで、友だち以外の人に自分の投稿を見せないようにすることができます。

他にもネットいじめは、誰でも被害者にも加害者にもなりうる、いじめがエスカレートしやすい、といった特徴があります。

相手がどう感じるかを考えることが大切

ネットいじめは、被害者に大きな精神的ダメージを与えるものです。自分が考えている以上に、大きな影響を及ぼします。

自分が被害にあった場合はもちろん、いじめが疑われるような書き込みを見つけたときは、すぐに周りの大人に相談しましょう。